

刊夕日卅月八



定価一圓五錢... 發行所 常磐毎日新聞社... 印刷所 常磐毎日新聞社

北滿便り

○野○團は一部を以て新官地に於ける馬求子軍約五百名を攻撃、敵を四散せしめ、更に空軍を以て哈達灣に集中し同地在留鮮農に對し迫害を加へつゝありし反軍約五、六百名を爆撃、之を退散せしむ。尙ほ警安縣内各地に駐在せし警察機關は○野○團入城前、既に反軍により地方の治安、蹂躪され其の全員は縣城警古塔に引揚げ來り、縣下各地は全く無警察状態に陥りたり。

○野○團警古塔入城後に於ける王德林及劉萬魁等は主力を率ひ、東京城方面より五虎林方面に去れり。越えて三月中旬吉林警備第一旅第二團の郭團長は部下約八百を率ひぬい古塔に來駐し、三月二十二日○野○團は第○團の烏吉蜜河、延寺方正方面の攻撃に際しぬい古とうより出動し、同旅團出動後に於けるぬい古とうは郭團及吉林警備第四旅

に改稱されたる趙司令隷下の一部隊約二百名とに依りて警備なる事となりしが○野○團出動直後の郭團長は張治邦に早くも懐柔され反軍側に内通するに至れり三月二十七日敦化方面より東京城を経て入城せる上田支隊、ぬい古とうに二泊の後即ち同月二十九日海林に向け出發せるに張團の隊途中三邦里の地關小舖の谷地を扼し、吾が支隊の全滅を期し又吾支隊のぬい古とう宿營中事端を構へざりし郭團は、挾撃すべく吾支隊の後を追ひ、攻撃に出でたるも効を奏せず、更に關小舖の敵は吾支隊の爲め、却つて挾撃を受け、戦死七十六名を出すに至れり。

上田支隊の離ぬいに當りぬい公安局田局長は職を去り、支隊に伴ひ離ぬいするに及び當時のぬい古とう公安局第一分局孫分局長が公安局長代理を命ぜられ現任す

○野○團警古塔入城後に於ける王德林及劉萬魁等は主力を率ひ、東京城方面より五虎林方面に去れり。越えて三月中旬吉林警備第一旅第二團の郭團長は部下約八百を率ひぬい古塔に來駐し、三月二十二日○野○團は第○團の烏吉蜜河、延寺方正方面の攻撃に際しぬい古とうより出動し、同旅團出動後に於けるぬい古とうは郭團及吉林警備第四旅

に改稱されたる趙司令隷下の一部隊約二百名とに依りて警備なる事となりしが○野○團出動直後の郭團長は張治邦に早くも懐柔され反軍側に内通するに至れり三月二十七日敦化方面より東京城を経て入城せる上田支隊、ぬい古とうに二泊の後即ち同月二十九日海林に向け出發せるに張團の隊途中三邦里の地關小舖の谷地を扼し、吾が支隊の全滅を期し又吾支隊のぬい古とう宿營中事端を構へざりし郭團は、挾撃すべく吾支隊の後を追ひ、攻撃に出でたるも効を奏せず、更に關小舖の敵は吾支隊の爲め、却つて挾撃を受け、戦死七十六名を出すに至れり。

上田支隊の離ぬいに當りぬい公安局田局長は職を去り、支隊に伴ひ離ぬいするに及び當時のぬい古とう公安局第一分局孫分局長が公安局長代理を命ぜられ現任す

オヤ、もう寝るのかい、未だ早いや、もつと面白い話でもし様ヨ」と、夫の安治は五月蠅く彼女に云つた
「妾ネ、體が疲れてゐるので、それから、そして又明日田圃へ出なければならぬせん、仕事をするのに夜寝むらぬのが一番毒ですから」
「デヤ俺の傍へ來ないと云ふのかい」
安治は稍急ぎ込んで聞いた。
彼女はクルリと寢返を打つて夫と反對の方へ向つた
彼女には今日の出來事が未だ目に付いて白い青年の顔がたまらなく懐かしかつた。
「アノ人が自分の夫だつたら……」
と胸の奥の奥からさう思つた。
「コレ、コレ、コレ」
夫は後から手を伸ばした
彼女は何かしら悲しくて泣けて、致方がなかつた
來る日も來る日も彼女には嫌らしい日計だつた。
其の後道夫青年には會はなかつたが、戀しさは日に増すばかり……
軍隊生活の様に、その事情の如何に關せず、絶對的に服従を強ひる夫と寝る虎の尾を踏む如き姑との間に

在る彼女は田圃へ出る事が唯一の慰になつた。
廣々とした中に自由である事と戀しい青年に若しや會へるかと思ふはかない期待とで……
會つた所で人妻の身ではと思ひながらも……

眞繼雲山師の
説を讀みて
一、讀者
○逢ひがたき眞の智識にめぐり合ひ
我が身に叶ふみのりをぞさく
○障りなき光りといふも外でなし
そのまゝ來いの彌陀の一聲
○そのまゝと呼びかけたまふ一聲に
長き迷ひの暗は晴れけり
○呼び聲のきこえて嬉し阿彌陀佛
重荷まかせてこゝろ安樂
○こわかりし三途の川を跡に見て
御恩尊ふとや南無阿彌陀佛
○ささの世に聞きしみのりの恵みにて
後生大事の身とぞなりぬる
○よしあしの重荷を彌陀にあづけつゝ
ただ樂々と日を送るかな

美味！ 芳醇！

宗正らひた

山崎合名會社 電話一〇番

金銀高價買入
根本時計店
平町田町丸新デパート

質札は（金時計鎖指輪類）有利に御相談致します

セメント 壁用材料
コールタール 代理店 西村屋藥舗
ペンキ塗料
板ガラス 平町二丁目電話三二

質物一般 各種債券類
三井質店 平町四丁目川岸 電話六〇六番

中村齒科醫院 平町鍛冶町七

在る彼女は田圃へ出る事が唯一の慰になつた。
廣々とした中に自由である事と戀しい青年に若しや會へるかと思ふはかない期待とで……
會つた所で人妻の身ではと思ひながらも……

○期 日昭和七年九月十日（第三日曜）
○場 所平町第三小學校庭
○競技方法 タイム滞空競技
第三回 郡下模型飛行機競技大會
○賞品 一等高さ一尺の大銀カフツ及び銀賞牌、銀メダル其他十五等迄澤山進呈奮て多數御参加あらん事を！
規定及び詳細は主催店へ御問合せを乞ふ

主催 平町 いづみや飛行機材料店
後援 平町 常磐毎日新聞社
東京 タイヤモンド 模型飛行機 東京研究會

科人婦・科外
院醫坂井
町田町平
番九五五話電

二百十日も無事らしい

小名濱測候所の観測

一週間程前降雨の爲め急に涼寒を催したのであつたが、こゝ二三日來の晴天でまた季節平温に達した農村稻作者の一大恐慌である二百十日は九月一日にあたり餘すところ二日間となつたが折角の豊作もウシカの大襲來により暗せうを興へられ今また二百十日を控へ稲作者の心配も一方ならぬ様子だが、小名濱測候所では語る

進路すれば、本邦には何等心配を要せぬが、もしこの颶風の進路が東に變換することになると日本海に入つて來るかも知れぬ、すると明日頃に裏日本海方面に驟雨性の天氣を齎すだらう、又南洋フィリッピン群島洋上の東部に發生しつゝある颶風も何れの方向に推移するかは豫斷を許さぬがもし日本に接近しても大したことはなく何か突發的な豫想を加味せぬ限り、まあ今年の二百十日は無事に通過するだらう

害虫の被害甚大

大浦、大野、草野の各村は

八割方荒ゐる

石城郡内の稲作は順調なる天候に恵まれて平年よりも二三割方の増収を見込まれて居た處去る

廿五日頃より、勿來、大野、大浦、草野、夏井等に猛烈な稻苞虫の発生が見つゝあるので農業技術員米

山技手が實地調査の結果近年稀れな大被害を蒙つて居る事が

判明した 被害の最も多いのは大浦村の百九十町歩、此外大野村の百六十町歩、草野百五十町歩、勿來五十町歩等、合計五百五十

水戸遠征の磐女軍陣容

各種目の選手決定

既報來月十一日水戸市へ遠征し同市の各女學校体育部と對戦する磐城高等女學校の出場選手左の如く決定された因に來月十八日安積高等女學校に於て行れる縣下女子中等學校体育大會の出場選手は水戸遠征の成績により夫々決定すると

- ヨ子 鈴木カネ(バスケットボール投) 石島トミ
- 松田貞子(庭球) 石川キヨ子
- 長瀬タマ 菅本シメ
- 前田シメヨ 戸來綾子
- 松長道(籠球) 荒垣トヨ
- 安積ヨシノ 下山田タイ
- 松本テイ 橋本オル 草野信子
- 白土喜恵 村上千代子
- 吉田泰子(排球)

陪審候補者數減少

抽籤は大体十月上旬頃

平町に於ける本年度陪審裁判の陪審員候補者數は本日福島地方裁判所より平町役場に廿名である旨通牒があつたが昨年の廿六名より六名の減少を見たのは陪審裁判が少ない爲めであるといふに右候補者の抽籤は十月上旬頃執行されると

遷友對世界館 平遷友對世界館チームの野球試合

籠球試合

磐女と第二校

磐城高等女學校籠球部にては本日午前十時より平第二小學校兒童を迎へ同校コートに於て新妻、渡邊兩審判の下に試合を行つたがメンバーは左の如くA組は十二對零のスコアにて惨敗しB組は六對一のスコアにて大勝した

磐女	第二
白土	島津
大榮	武島
河野	大平
阿部	北村
安齊	平山
B組	
草野	田村
吉田	小林
白土姉	飯島
村上	小泉
白土妹	太田

匪賊夜話

滿洲奉天駐劄軍曹 平町出身矢野重光

人情中隊長

炎熱百三十餘度滿洲の空は焼けつくさんばかりの折我軍は匪賊討伐の任を受け重い背嚢を背負ふて將兵は喘ぎ喘ぎ峠を上りつゝありました、既に一同は水に渴して殆んど倒れん許りの状況にあつたのであります

其時一兵士は小川の水をのまんとして水筒を以てその邊に走り寄りました中隊長は之を見るや一喝して制止しましたが兵士は最早や満々と汲まれた水筒の水を口にあてんとしてゐました、再び一喝の聲に兵士は慌てゝ之を口より離せしめ恨しそに水筒の水を眺めて「ツバキ」を呑んでゐます、中隊長は黙々として自分の水筒の蓋を開けて「中隊長の水をやるから其の水筒の水を投げよ」と命じ直に自分の水を全部兵士の水筒に與へたのであります。

りました斯くして我中隊は此の出動間に於て聯隊隨一の成績を示して一名の赤痢患者も出さず無事凱旋したのです。我々は人情中隊長を戴きて此の鴻恩の萬一にも報ひんために死を屠して中隊長のため大君のために奮斗せん事を誓つたのでした。

平町人事

- △紺屋町三八 加藤源治氏 三男隆
- △田町一六 石坂一雄氏二女恵子
- △長橋町一〇 佐藤武雄氏 従妹佐藤トミ(一九)

は切貸

電話三四三番

シクタク和昭

市原醫院

平町田町 電話一四番

重量が 海の怪物

今朝豊間沖合で捕獲

今朝五時頃石城郡豊間沖百哩の海上で鯉漁船榮丸の乗組員が悠々と浮游する大龜を

龜に似て龜にあらず

発見し網を投げ込み總掛りて漸く捕獲した處重量五十貫餘に及び型は一見海龜に似て居るが背中の甲は堅くなく前後に魚のヒレを持つ怪物にて乗組員一

小名濱

同吃驚し今朝六時頃陸揚げしたか濱の漁夫達も今迄に見た事がないといふので四邊は見物人が山を築長も右の怪物と對面の爲めオートバイを飛ばして出張した

騰る々!

兩値大好調

歡聲喜語横溢

好人氣に煽られた兩の値段は益々好調を呈し廿九日の市場況は

四倉が白藪最高四十八圓廿錢にて前日より俄然七圓廿錢の昇騰を示し最低も卅九にて八圓高、買馴は四十四圓卅錢にて六圓五十二錢高の素晴らしさ!又

植田も黄藪が最高卅七圓八十錢にて一圓六十錢高、最低三十四圓六十錢にて同じく一圓六十錢高、買馴卅五圓八十錢にて二圓六十錢高で未だ一強氣を含んで居るから五十圓は突破

石城郡下の藪値が騰貴して悲喜劇を演じて居る中に産米取引相場のみは反對に値下り氣味で現在の四等買入相場は一俵七圓四十錢を前

米は下り氣味

豊作の豫想から

後し昨年同期の九圓臺とは二圓近くの安値を示して居る是れは稲作の豊作豫想と海外爲替に差程の影響を及ぼす結果である

豚コレラ

益々火の手を揚ぐ

江名濱に十二頭

去る廿七日平署管内最初の豚コレラが小名濱町に發生して以來同署は極力是れが豫防に努めつゝあつたが去る廿八日頃より隣町江名濱に飛火して猛烈となり本日迄に同町南町の丸山丑松、鈴木政吉、佐川國三郎、中ノ作の吉田源平治、津島峯次郎、吉田芳、風越の坂本留次郎、坂本清松等飼育の

ノツソリ怪漢

金を貸せとて 氣味悪く迫る

警署留守番人襲る

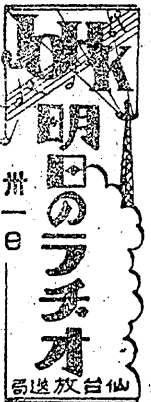
昨夜午後十時頃平町三丁目元警署銀行の建物内に一名の怪漢ノツソリと忍び入り留守番人佐藤某に對し

金を貸せと迫つたが懷中に手を差込み何が兇器を所持せる如く装ふ様の薄氣味悪さに佐藤が騒ぎ立てた爲め宵の口の事として附近の者等駆付け怪漢を捕へて

肥料騰貴

對策を協議

石城郡大野村農會では來月



報豫氣天

今晚も明日も南西の風晴れたり曇つたり所により驟雨あり

今晚の部

- 後六、〇〇(子供の時間)
- 後六、二五「カレント・トピックス」ハロルド・バート
- 童話劇「迷子の蛙」J.O.A
- K唱歌隊
- 後六、三〇 夏期英語講座
- (二二)鹽谷榮

區裁判所に於て略式命令を以て處分された

又も道路工夫 自動車と衝突

石城郡内郷村字綴大勝自動車店の運轉手原田猛(一七)は昨廿九日午後三時頃乗合自動車運轉し御厩地内を進行中道路の修繕中であつた道路工夫堀川七(三)に誤つて衝突し腕及び顔面等に全治二週間を要する打撲傷を負した

明日の部

- 前六、三〇 家庭教育講座「子供の生活の見方」廣島文理科大学教授文學博士久保良英
- 前七、〇〇 エスベラスト講座(十四)日本エスベラスト學會國際常設代表進藤静太郎
- 前七、三〇 夏期兒童講座「青函連絡に就て」青森縣師範學校訓導齋藤豊明
- 前九、一〇 料理献立「焼牛米のスープ」熊野新一
- 前一〇、三〇 家庭講座
- 後〇、〇五 音曲「博多御

- 所「外 水茶屋博次
- 後二、〇〇 「日本の庭園の特色」重森三玲
- 後六、〇〇 子供の時間 管絃樂 東京ラヂオオーケストラ 指揮 奥山貞吉
- 解説 野村光一
- 後六、三〇 山と海の講座「石鏡山及其の姉妹の山々」藤島信太郎
- 後七、三〇 大衆演藝の夕(萬才浪米はなし)千代廻家蝶丸 千代廻家登美子 外はやし連中(浪花節義士銘名博)雲井式部(放送喜劇隣り合せ)曾我廻家五郎一座

回求職の部

- 五日午前八時より小學校に於いて肥料の騰貴に依る共同購入の單價引上其他に就て協議會を開く
- 平職業紹介所報告
- 回求人部の部
- △湯屋三助 五十才迄 尋卒 給料面談(平町某)
- △商店員 十六才 尋卒 年二十圓(東京市某)
- △兒守 十七才 尋卒 月四圓(四倉町某)
- △女中 三十才 尋三修 給料面談(大野村某)
- △雜夫 三十二才 尋卒 給料面談(平町某)
- △洋裁縫工 十七才 高卒 給料面談(内郷村某)
- △雜婦 四十才 尋三修 給料面談(平町某)
- △配達 二十三才 尋卒 給料面談(内郷村某)

谷口長治儀本廿八日午前一時死去仕り候に付 此段御通知申上候

追て葬送の儀は來る三十一日午後二時自宅出棺天理教墓地に於て告別式相替み可申候 昭和七年八月廿八日 平町二丁目

妻 安 弟 治 外親 戚 一同

